



2025 年 11 月 発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)

発行責任者 白 江 浩
 編集 佐 藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀 4 丁目 19-1

TEL 022 (243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976 年 2 月 25 日 発行 第 3 種郵便物認可 (毎週 4 回月・火・木・金曜日発行)
 SSKO 通巻 12035 号



秋空の中 ショップセール賑わいました!

10 月 25 日 (土)



会報「自立」5 ページに「ショップセール」の日にちを掲載しています。またはお問合せいただければ幸いです。

毎月、自立ホームに併設している「ありのままショップ」ではセールを開催し、ロータリーでは古着や生活雑貨、本や CD など販売し大変賑わっています。日頃から皆様にご提供いただいたバザー品を多く品揃え、価格もお安く販売しているイベントです。いつもお世話になっている地域の皆様への感謝と売り上げは活動費とさせていただきます。猛暑の夏や寒い冬に比べ秋は過ごしやすく、お客様は長く滞在され、お話をしながら楽しく買い物をしていました。「毎月とっても楽しみにしています。元氣になります。」「どんなものがあるか分からないのが楽しみです。」「いいものに出会えると、幸せな気分になります。」など賑やかな声が聞かれました。入居者の皆さんも楽しみにしておられ、古着や漫画本、CD など見に来られています。周り方が一緒に品物を探してくださったり、お手伝い下さっておられ楽しいひと時を過ごしています。毎月一回、土曜日に開催しています。是非ご参加ください。

薫る風

関西万博が終わろうとする十月九日から三日間、障碍のある方の芸術作品の展示が万博内で行われた。開催途中でその話が出て、紆余曲折を経て、多くの方々の努力で実現したと聞いた。その展示作品を決める公募に、ありのまま舎に入居している方が応募し採用された。以前、当舎で十二年間行っていた「ありのまま絵画展」がご縁で入居された方で、以前描かれた作品を出展された。私は、それに関わった施設協議会の役員の立場もあり、その開会式に出席する機会を得た。作品はいずれも素晴らしい、既にプロとして高額で売られている方もおられ、圧倒された。知的に障碍ある方、発達障害と言われる方などが多く、その才能のすごさに驚いた。絵心のない私ではあるが、以前当舎で行っていた絵画展の選考に関わった経験から、製作段階からの話や、作品の多様性、ご苦勞を思い出しながら展示作品を拝見した。当時を振り返り、選考委員長の寛仁親王殿下が「障碍」の有無に関わらず、作品として選考するという方針を明確に示して選考されていたのを思い出す。選考し顕彰するだけでなく、全国数か所で絵画展を行った。当時は障碍のある方の絵画展は珍しく、デパート、専門のギャラリー等地域によって様々だが、多くの人々に見て頂いた。そこからプロとして活躍された方もいた。あれから二十五年余が経過し、多くの地域で、障碍のある方の様々な芸術活動が積極的に展開され、その能力の高さが実証されてきた。今回の万博での展示はそういう意味ではひとつの節目なのかと感じた。その後のご報告で多くの方が来場されたと伺った。そのすぐ後に名古屋でやはり絵画展を過去に行っていた団体の方から、数年ぶりに回顧展を行ったと手紙を頂いた。むずむずする大きな刺激を頂いた。

(白江浩)

会報「自立」 発送作業 教会の皆様のお力に感謝



会報「自立」は約 5000 部

を全国の協力者の皆様に発送しています。その発送をお手伝いいただいているのは仙台市内の教会の皆様です。

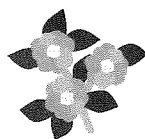
コロナ前は、月一回自立ホームの談話室に各教会からご奉仕に集まって下さっていました。毎月約 20、30 名の方がご参加くださり、午前中で作業が終わり、終わった後にお茶を飲みながら皆様とお話をしながら楽しいひと時を過ごしていました。

コロナ禍で大勢の人が集まっていたのが難しくなり、一時はスタッフのみで作業を行っていましたが、教会の皆様が再開をご検討下さり、会報を各教会にお届けして、教会の中で作業を行って下さっています。

作業は主に 3 工程あります。①真ん中に郵便振替用紙を入れる。②会報を縦半分に折る。③住所が書かれた帯封を通すです。各教会に会報を届ける形に変わりましたが、教会の皆様にお手伝いをいただき大変感謝しております。



仙台長町教会の皆様

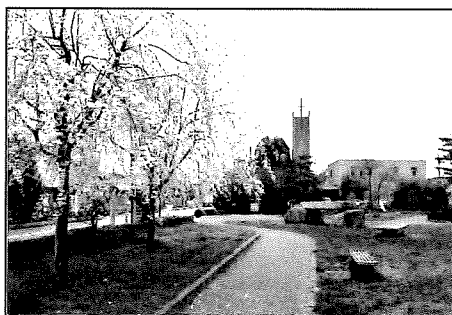


【仙台長町教会婦人会】

年に 2 回、日曜日の礼拝の前と後に集まって会報誌の折込作業をお手伝いしています。この日は 10 人程で作業を行い、1、2 時間で完了しました。コロナ禍以前は、施設の方へ伺って作業をしていましたが、現在は教会で折込作業ができるよう、会報誌を届けていただいています。小さなお手伝いではありますが、ありのまま舎さんとの繋がりに感謝して、心を込めて作業しています。これから寒くなります。皆さまどうぞお身体を大切にお過ごしください。

【仙台北教会婦人会】

1887 年(明治 20 年)に仙台中心に東三番丁教会として設立されました。2 年後に 140 年になります。1974 年(昭和 49 年)現在の東勝山に移転し、仙台北教会になりました。礼拝堂にはパイプオルガンが設置され、天井の高い室内でのオルガンの響きは多くの人々を癒してくれます。現住陪餐会員 133 名、礼拝出席者平均 60、70 名。バザーの時、ありのまま舎からも出店していただきました。年 2 回のありのまま舎の奉仕活動もしております。



仙台北教会

「ご奉仕いただいた教会の皆様は、6 ページに協力ありがとうございました」(ヴォランティアお礼)に毎月ご紹介しています。

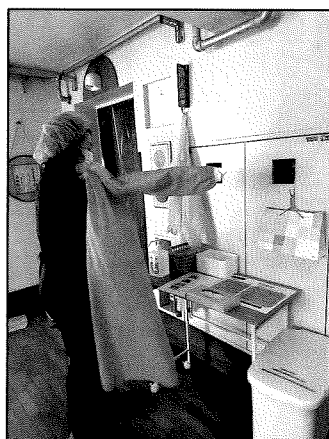
ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター 個人防護具(PPE)着脱 研修

コロナウイルスが流行して以降、自立ホームでは定期的に個人防護具(PPE)の着脱シミュレーションを行っています。

自立ホームではこれまでコロナ感染者は出ていませんが、経験がない分、感染者が発生した時に冷静に迅速にいつでも対応できるように研修を続けています。

また毎月行われる法人感染対策委員会では太白ありのまま舎(入所施設)での感染対応、認識について情報や指導をいただき、自立ホームでも同じ意識で対応できるよう心掛けています。

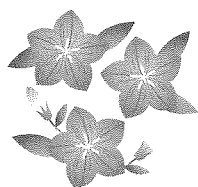
定期的に行っている着脱シミュレーションですが、頭の中の記憶だけで行うのは難しく、順番が書いてある書面をしっかりと見て、焦らず正確に行うことが重要であると毎回ケアスタッフから感想があります。特に使用



テーブルに貼られた指示書(流れ)を確認しながら、焦らず、正確に行うことを心がけています。



流水でしっかり手を洗い清潔な手で手袋、キャップ、マスクをします。



済みのエプロンや手袋、マスクを処分する順番ややり方を間違ってしまうと感染が広がる可能性があります。目に見えないウイルスだからこそ、ひとつひとつの動作を正確に行うことを心がけています。

コロナウイルスは夏と冬に流行する傾向があり、これから寒い季節を迎え体調管理と感染症対策の研修を続け、スタッフの意識を高めていきたいと思っています。

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

10月17日（金）太白区実務者
ネットワーク会議に参加してい
ます。今回は「意思決定支援」
というテーマで、障害の分野だ
けでなく高齢者の分野の方も一
緒にグループワークを通して話
し合いました。

意思決定支援を行う上で皆様
から話題に上がったのが「ご本
人の意思を汲み取ることが難し
い方へのアプローチ」でした。
重度の障害のある方や認知症の
方等の意思を汲み取る時に、ご
本人に合った面談方法や意思を
表出しやすいツールを見つけて
いくこと等、普段皆様のアイデ
アをお聞きして、大変勉強に
なりました。また、ご本人の意
思を確認する時に、表出が少な
いことから誘導的になりやすい
ということもありました。自分
自身もご本人の意思をうまく汲
み取ることに悩むことが多いこ
とから、支援を見直す良
い機会となりました。

皆様のお話をお聞きして改め
て感じたことは、ご本人の意思
を引き出すことは「信頼関係が
あること」が基本となることで
した。ご本人が安心して意思を
表出する下地があつてこそその支
援なのだと思います。今回の
会議の内容を活かして、ご本人
の意思に寄り添う支援を行って
いきます。
（相澤誠一）

【仙台市基幹相談支援センター】

仙台市障害者基幹相談支援セ
ンター事業を受託し、一年過ぎ
ました。職員の入替わりはあ
りつつも、仙台市内で活躍され
ている相談支援専門員の皆さん
に何か持ち帰ってもらえるよう
にと研修会を企画、運営をして
おります。

先日は一般社団法人宮城・仙
台相談支援従事者協会、仙台市
障害者支援課地域生活支援係の
皆様にご協力をいただきながら
新たに指定特定相談支援事業所
の立ち上げを検討されている事
業者の皆様に向けて研修会及び
個別相談会を開催しました。計
画相談の実務に関するノウハウ
や経営などわかりやすくイメー
ジできたと参加の皆さまよりお
声をいただきました。

そして第3回を迎えた合同事
例検討会。参加対象を広げ、市
内の相談支援事業所の皆さんに
ご参加いただけるよう広報し、
新たに今回4事業所からご参加
いただきました。一方では会場
の広さ、グループワークの持ち
方など考えなければならぬ新
たな悩みも発生。くよくよして
いても時間だけが過ぎ、何も変
わらないままでは進みませので
トライアンドエラーで取り組ん
で参ります。
（板橋政江）

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

【ケア】

晩翠の詩（ユニット）では、
企画として「夏の遊び体験」を
開催しました。

猛暑が続く中、当日はあいにくの曇り空でしたが、過ごしやす
い気温となりました。入居者
の方もほとんどの方が参加を希
望され、中庭にタープを設置し
涼みながら、屋外での魚釣りゲ
ームや的当てゲームを行いました。
た。

釣りゲームでは大きな魚や、
小さな魚を真剣に狙って釣りを
する様子が見られました。大量
に釣り上げた入居者の方は他の
入居者から、「すごいね。」等言
葉を掛けられて嬉しそうな様子
でした。的当てゲームでは、妖



中庭にタープを設置し夏のイベントを開催！



釣りゲームなど楽しい時間を過ごしました。

怪退治をテーマとし、妖怪やお
化けの的に水風船を思い切り投
げられるに当たると、声を出し
て喜ばれていました。

ゲーム内の獲得点数に応じて
表彰を行い、景品を獲得され、
嬉しそうな様子が見られました。
ゲーム中にはアイスやジュース
を召し上がりながら他の入居者
の体験している様子を見て、楽
しまれていました。入居者の方
からは、「楽しかった。」「またや
りたい。」「アイス美味しかった。」
などの声が聞かれ企画を楽しん
で頂けた様子でした。

秋や冬にも企画を考えている
ので、少しでも入居者さんの楽
しみが増えれば良いと思いまし
た。
（吉田和恵）



〒983-0823 仙台市宮城野区燕沢一丁目15-15

行政書士法人 仙 台 法 務 サ ポ ー ト

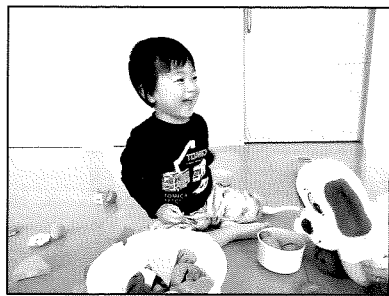
TEL (022) 388-3192 FAX (022) 388-3194
E-mail info@s-houmu-spt.jp

及川社会保険労務士事務所

TEL (022) 252-7060 FAX (022) 388-3194
E-mail srs-oikawa@s-houmu-spt.jp

【チャイルドケア仙台ありのま
ま舎保育園】

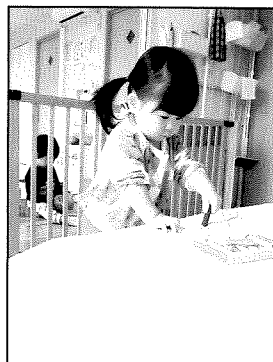
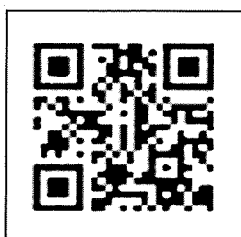
あつという間に秋が通り過ぎ暖房もコートも我慢できない程寒くなりました。体調管理に困りますね。子どもたちは自分で調節ができないので、なおさら困りますよね。寒いかなと思ひ厚手のものを重ねてしまふと、子どもたちは体温が高めなので、汗をかいてしまい、汗が冷えて風邪をひいて感染症が流行る季節なので治りかけでまたぶり返してしまつたり。なかなか大変です。先月も換気や消毒に努めています。やはり風邪が蔓延してしまい、子どもたちは辛そうな様子でした。そうすると情緒も不安定になりがち。可能であれば寝るだけゆっくり寝かせて、イヤイヤしてほしーと一緒にゆっくり過ごしてほしいと思います。一緒に遊ぶとかではなくても、お母



天候が不安定な日は室内で好みの遊びをのびのびと楽しんでいます。

【ありのまま舎ホームページ】

ホームページのQRコードです。各事業所や出版物の紹介、ご支援いただきたい内容なども掲載しています。ぜひご利用ください。



(春日麻里)

さんお父さんが側にいることを確認できることが大事。

体調を崩すと不安になることがありますよね。病は気から。情緒が安定すると体も強くなり、回復力も高まります。これからの季節、心も体も寄り添って暖かくして過ごしていきましょうね。

名取エリア

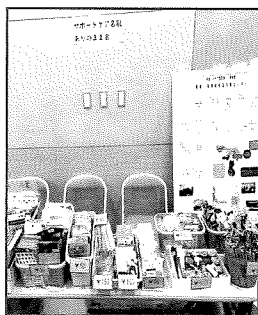
【サポートケア名取ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

10月4日(土)に毎年恒例の「市民活動わくわくフェスタ」が開催されました。今回はその時の様子をお伝えしたいと思います。

このイベントは名取市内の市民活動の取り組みを市民の方々に知って頂くために毎年開催されているものです。名取ありのまま舎でも毎年参加しており、今年も活動紹介のパネル展示と文房具の販売を行いました。

当日は、沢山の方が会場に足を運んで下さり、例年よりも賑わっていました。お客様の中には当法人について熱心に質問される方や活動について温かい声がけを下さる方、文房具の購入を毎年楽しみにして下さる方などがおり、ありのまま舎について知って頂く良い機会になっています。

今後この様な市民の方々と接する機会を大切にして、ありのまま舎をより身近に感じて頂きたいと思います。(平賀愛)



活動のパネル紹介

亘理エリア

【サポートケア亘理ありのまま舎基幹相談支援センター】

亘理町中央公民館にて、地域移行・地域定着の促進事業の一環として「第二回ピア活動(お仕事(働く)について聴いてみよう!語り合おう!」を開催しました。

「ピア活動」とは、亘理町内にお住いの精神障害のある方を対象に、共通するテーマに沿って、「こんな時どうしてる?」「その気持ち分かる!」などアイディアや気持ちを分かち合う場です。今回は、障害者雇用で就労中のAさんを話題提供者としてお招きし、参加者同士で語り合いました。Aさんからは、一般就労を目指し就労移行支援事業所に通ったことや、障害を開示して就職して良かったこと、長く働き続けるためには余暇も大切にしていることなどのお話を伺うことができました。

参加者からは「働くことに自信を無くしていたが、話を聞いて前向きな気持ちになった」「自分にあつた就労移行支援事業所の利用や、仕事探しが大切だと思った」などの感想が聞かれました。

今後も、参加者が元気になるような場作り、テーマを意識して企画できたらと思います。

(馬場美和)

【サポートケア県南ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

一般就労を長く頑張つてこられてきたお二人の相談利用者が相次いで退職し、次の道に向けての前向きに準備に向き合っています。

退職の理由はお二人とも仕事上のことではなく、通勤のための交通機関の問題でした。路線バスの路線再編によりこれまで利用してきたバスがなくなり行けなくなった、ダイヤ改正により終業後の移動手段がなくなつたといった理由で、とても残念に感じる事情です。会社の上司と相談しながら、仕事を続けることを模索して部分的にタクシーを利用したこともありましたが、費用的に長く続けることの難しさにも直面していました。

現在お二人とも前向きに次に向けての準備を具体的に進めています。一旦障害福祉サービスの就労系事業の利用をしていくことを想定していますが、「自宅から通える障害者雇用の場が増えるといいのですが」とご本人、ご家族から思いをお聞かせいただいています。

働くための環境を整えていくため、当事業所としても関係機関の皆さんと一緒に取り組んでいきながら、これからも希望の実現への応援をしていきます。

(齋藤栄樹)

【難病ホスピスケア亙理ありのまま舎】
【メディカル】

先日、ある介護施設において入浴中の熱傷による死亡事故のニュースを目にしました。湯温の確認不足で高温に数分間浸かった為の事故だそうです。そのニュースに心が痛みましたが、けてして他人事ではないと思いました。

ちよつとの不注意が大きな事故に繋がる。介護の現場は常に危険と隣合わせです。そのため私達は常に緊張感を持って業務に当たらなければなりません。事故を予防する手段としては危険予知訓練の実施、インシデントやヒヤリハット報告書の活用等があり、当施設でもこれらを有効に活用し、各セクションと情報共有をおこなっています。それでも100%事故を防ぐことは難しいのが現状です。

利用者様が安心、安全に毎日の生活が送れるよう、私達は努力することを怠ってはいないのだと、改めて考えさせられた出来事でした。

(加藤真紀)



「ご支援頂きありがとうございます」
「ございました(敬称略)」

【書損じはがき等】

25 9/27 10/25

(鈴木一彦)

【バザー提供】

25 10/1 10/25

【ボトルカンパ】

25 9/27 10/25

ありのままショップ(太白区)

3,293円

ありのままショップにご来店下さるお客様より、お買い上げされた際のお釣りをボトルに入れて下さいました。皆様の温かなお気持ちに支えられております事を改めて強く感じております。



【バザー開催日のご案内】

《2025年12月》

2日(火) ヨークベニマル鉤取店

4日(木) ヨークマルシェ大和町店

9日(火) ヨークベニマル南吉成店

11日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

16日(火) ヤマザワ茂庭店

20日(土) ありのままショップセル

(仙台ありのまま舎)

23日(火) 袋原(向日葵ライフ

サポートセンター)

25日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

ありのまま舎後援会(敬称略)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

9月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,289円

ありのまま舎(自立ホーム・太

白ありのまま舎・サポートケア

県南・亙理ありのまま舎

7,773円



サントリーさんの自販機

【後援会費】

25 9/21 10/15

たくさんの方より後援会費を頂戴しました。
(佐藤環)

フラワー 虹の丘本店は新店舗にて元気に営業中！

スマホで簡単予約♪
モバイルオーダーはじめました→



ご来店やドライブスルーでお受け取りのご注文をスマートフォンで簡単にご予約いただけます！

 FLOWERED
花のフラワー

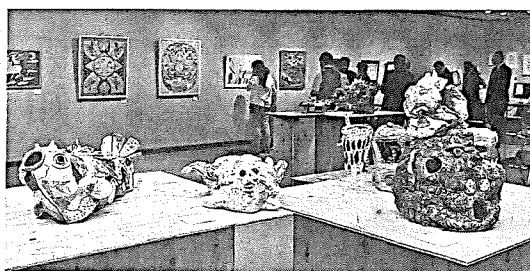
虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-14-1
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1
北仙台店 仙台市青葉区昭和町5-42

TEL022-375-4411
TEL022-371-0311
TEL022-728-4411

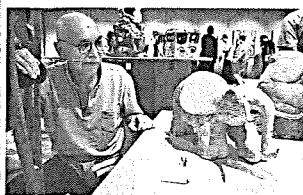


2025年(令和7年)10月9日(木曜日)

多彩な障害者美術 楽しむ秋



●さまざまな造形作品や絵画が並ぶ回顧展
●大賞を受けた作品「ぞう」を見ながら当時の懐かしむ泉さん
＝いずれも中区栄2の電気文化会館で



中区栄2の電気文化会館では8日、1999年から10年間にわたって開かれ、県内で障害者美術展の先駆けとなつた「生の芸術フロール展」の回顧展「生の芸術フロール展」を開催。県内の福祉や医療関係者が協力して20年に第1回を開催。当時、県内で障害者による美術展は珍しく、10年間で約7千点の応募があつた。会場では約2千点紹介してきたが、他団体に美術展の開催機運も盛り上がり、2008年の第10回を最後に幕を閉じた。それから15年余たち、フロール会には当時の出品者や家族から「もう一度見たい」との声が多く寄せられていた。回顧展を開くことになり、主に県内在住の25人が過去の受賞作を中心に計60点の作品を寄せた。

先駆け「生の芸術フロール展」回顧展 栄

作品展を企画してきたNPO法人「フロール会」(名東区)によると、フロール展は仙台の社会福祉法人が開いた障害者の絵画展に端を発し、県内の福祉や医療関係者が協力して20年に第1回を開催。当時、県内で障害者による美術展は珍しく、10年間で約7千点の応募があつた。会場では約2千点紹介してきたが、他団体に美術展の開催機運も盛り上がり、2008年の第10回を最後に幕を閉じた。それから15年余たち、フロール会には当時の出品者や家族から「もう一度見たい」との声が多く寄せられていた。回顧展を開くことになり、主に県内在住の25人が過去の受賞作を中心に計60点の作品を寄せた。

名古屋で開催された「回顧展」

「障害者自立読売絵画展」(ありのまま舎主催/1988年)をきっかけに、名古屋市の団体が「フロール展」を企画し障害美術展の先駆けとなりました。10月に「回顧展」を開催され新聞で紹介されました。
(1面「薫る風」参照)



「協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会、仙台長町教会と仙台北教会の皆様にご協力をお願いしました。また、自立ホーム入居者有志の皆様にご協力をお願いしました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただきました。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

茂庭台ボランティアグループの皆様や、宮城県車いすダンス協会様などに協力いただいた活動については、基本的な感染対策に気を付けながら、活動を進めていきたいと考えております。

秋が深まり空気の乾燥もより感じるようになりました。のどを潤し、感染症予防を心がけて、皆様が元気に過ごせますようお祈り申し上げます。(遠藤寿子)

医療法人社団静実会

【法人理念】「やさしさと気配りをもって、赤ちゃんからお年寄りまでを診る地域の家庭医を目指します。」を念頭に「住み慣れた町で、なじみの関係を大切にその人らしく自由に生活していただく」を推進します。

地域連携室 TEL: 022-796-6590 FAX: 022-796-6538

ないとうクリニック (内科・小児科・リハビリテーション科・訪問診療・通所リハビリ)

TEL: 022-281-5490 FAX: 022-281-5491 (ないとうクリニック)

TEL: 022-796-6943 FAX: 022-796-6944 (通所リハビリ)

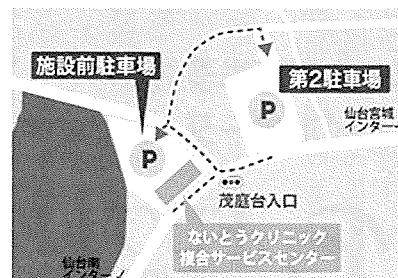
ないとうクリニック訪問看護ステーション

TEL: 022-796-9320 FAX: 022-796-9321

かがやき TEL: 022-796-6957 FAX: 022-796-6958

ないとうクリニック居宅介護支援事業所

TEL: 022-796-1871 FAX: 022-796-1872



ご寄付のお願い

〔公的支援が難しい入居者・
利用者の生活支援のために〕

ありのまま舎は、任意団体以来 50 数年、どんなに重い難病や障害があっても、誰もが当たり前にご本人が望む場所（地域）で生活できるよう支援する活動に取り組んできました。東日本大震災後、津波で大きな被害のあった亘理地域に拠点を広げ支援を続けてきました。

これまで多くの皆様から頂戴したご寄付は、公的な支援がもらえない部分に充当してきました。具体的には重度の障害を持った方、利用者の方の生活支援のための医療機器、衛生用品、災害時の非常用電源や防災関係の整備、施設の修繕、さらには基準値を上回る人員配置を行うためのスタッフの人件費等です。

ピーク時に年間 3000 万円ほどあったご寄付は東日本大震災以降減り続け、3 分の 1 以下にとどまっています。さらに、新型コロナウイルス感染拡大によりバザー会や街頭 PR 活動の機会が減少し、バザー会は再開したものの、たくさんの方が集まっていたイベントが難しくなってきたように感じています。さらには物価高騰による光熱水費、給食のお米や食材料費、生活備品の値上がりが施設運営に大きな影響を与えています。

ありのまま舎へのご寄付は、税額控除により税の還付が受けられます。どうか将来に向かって維持拡充していくため、皆様の様々なかたちのご支援を切にお願い申し上げます。

【ご寄付の方法】

◆郵便振替 会報「自立」の振込用紙をお使いください。

◆銀行振込 七十七銀行 西多賀支店 普通預金 5102391

社会福祉法人ありのまま舎 理事長 白江浩

◆その他 後援会員の入会を随時受け付けております。年に 1 回会費としてご寄付を頂戴し、年度末にありのまま舎への寄付が確定し、法人本部に寄付をするものです。

（お問合せ先）社会福祉法人ありのまま舎法人本部

TEL 022 (243) 1300 FAX 022 (243) 0322

「ありのまま舎運営協力寄付金」
(敬称略)
25
9 / 17
9 / 30

